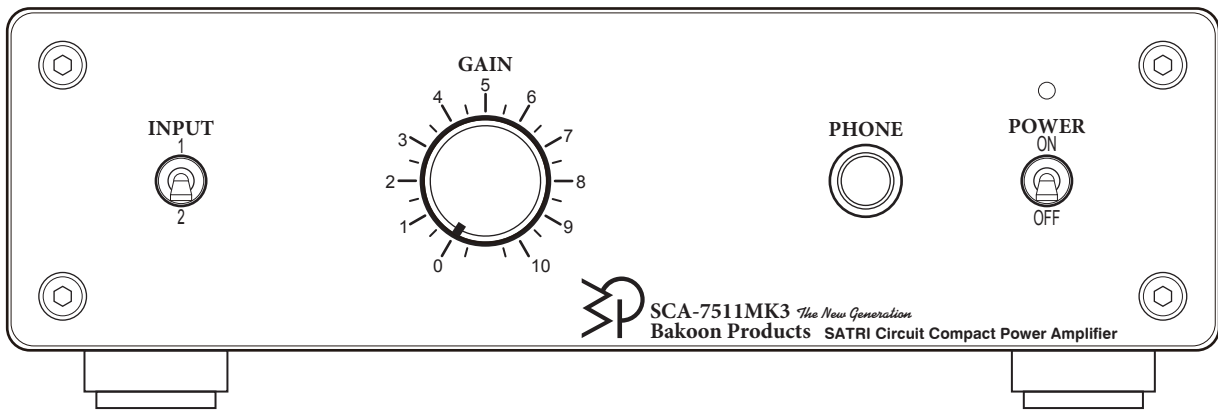


SATRI Circuit Compact Power Amplifier

SCA-7511MK3



取扱説明書

Owner's Manual

Rev.5.0

 **Bakoon Products**

はじめに

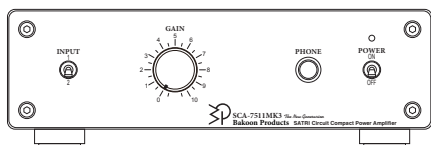
このたびは弊社の SCA-7511MK3 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

SCA-7511MK3 の出力は 15W+15W とコンパクトですが、大型スピーカーをも十分に駆動する能力があります。ヘッドフォンも使用することができますので、ヘッドフォンアンプとして、また、家庭用の音楽鑑賞用のアンプとして手軽にお使い頂けます。

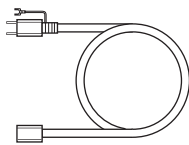
SCA-7511MK3 には新しい SATRI 回路 V5.2、V8.3、V11.4 を搭載しておりますので、大変情報量が多く、そのために小出力でも音が大きく聞こえます。これで 15W かと驚くような音量感と迫力をお楽しみ下さい。

付属品

パッケージの中には本体及び以下の物が入っています。万が一欠品があった場合は販売店または弊社までご連絡下さい。



SCA-7511MK3 本体



電源ケーブル



取扱説明書（本書）

ご使用になる前に知って頂きたいこと

本製品に使用されている SATRI 回路の特徴として、電源を入れてからバイアス電流が固定されるまでおよそ 5 分の時間を要します。その間、音が出なかったり音に歪みが生じますが、製品の故障ではありません。電源を入れてから 5 分間の間は、ボリュームを絞っておいてください。

SCA-7511MK3 には有機半導体コンデンサを多数使用しています。そのため、製品本来の音質になるまでには 100 時間程度のエージング（通電）が必要になります。

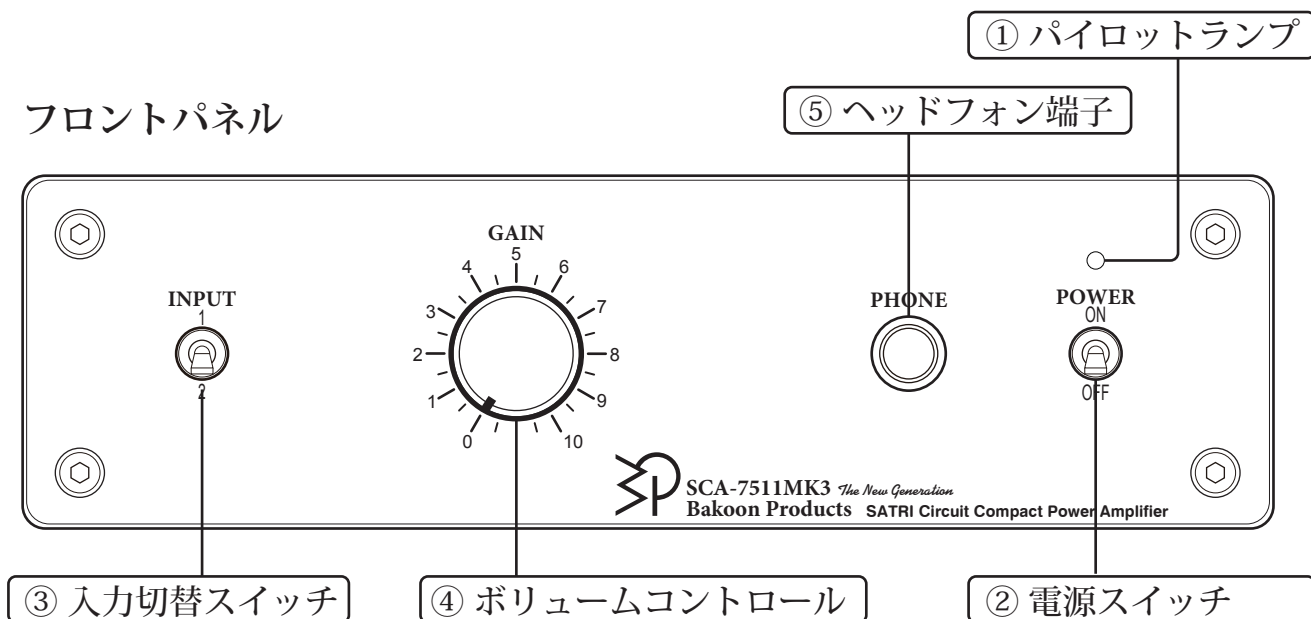
安全にご使用頂くために

事故や故障を防ぐため、以下のことを守ってご使用下さい。

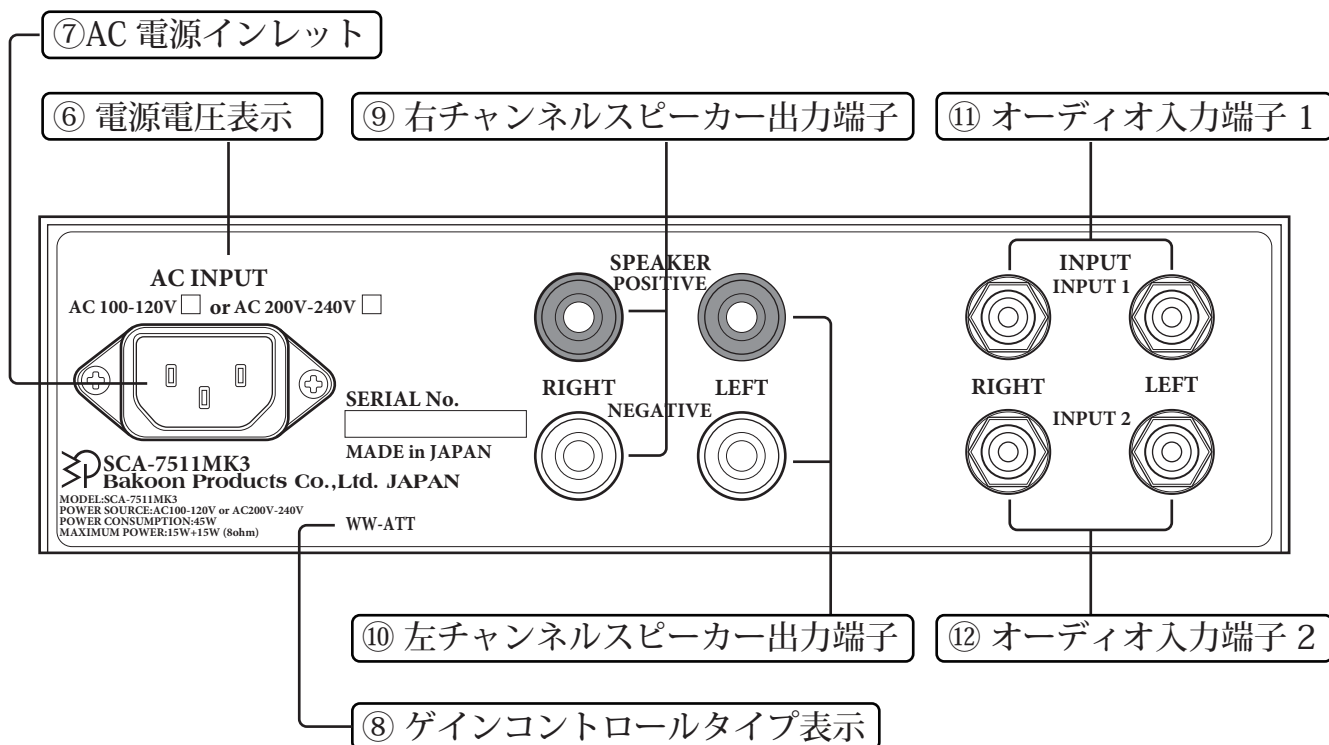
- ・高温多湿の場所での使用は避けて下さい。
- ・水に濡らさないで下さい。感電や火災の原因となります。
- ・電源ケーブルはかならず付属の物をご使用下さい。
- ・感電事故防止のため、アース端子をアースに接続して下さい。
- ・オーディオ機器を接続する際は、必ず電源を切るかボリュームを絞った状態で行って下さい。
- ・カバーを外すなどの分解を行わないで下さい。故障や感電事故につながる場合があります。
- ・本機の上に重い物を乗せたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。
- ・お客様自身での改造行為は弊社の保証対象外となる場合があります。

各部名称

フロントパネル



リアパネル

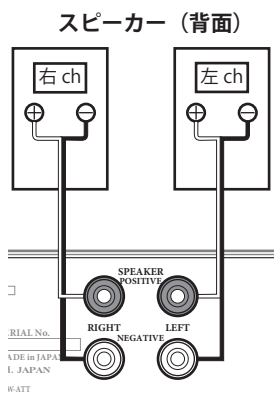


スピーカー・オーディオ機器の接続



必ず本機の電源スイッチを OFF にし、ボリュームコントロールを 0 の位置まで回してから接続作業を行って下さい。

スピーカーの接続



スピーカーを本機背面のスピーカー出力端子に接続します。(⑨・⑩)

本機の赤い端子にスピーカーケーブルのプラスを
黒い端子にマイナスを接続します。

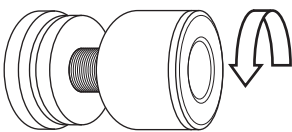
プラスとマイナスを間違えて配線しますと、アンプの故障につながる場合がありますのでご注意ください。

本機に適合するスピーカーはインピーダンス 4Ω以上となっております。本機の故障に繋がる恐れがありますので、4Ω未満のスピーカーは接続しないようにして下さい。

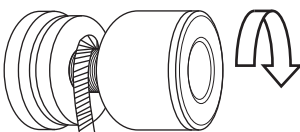
スピーカー端子への接続方法



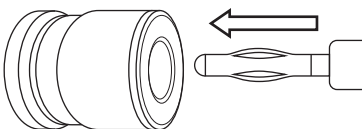
1. スピーカーケーブルの先端の被覆を 30mm ほど剥き、芯線を露出させます。



2. スピーカー出力端子を緩めます。

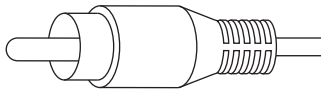


3. スピーカーケーブルの芯線を巻き付け、しっかりと締め付けます。

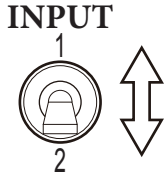


バナナプラグを使用する場合は、端子は緩めずにプラグを奥まで確実に差し込みます。

オーディオ機器の接続

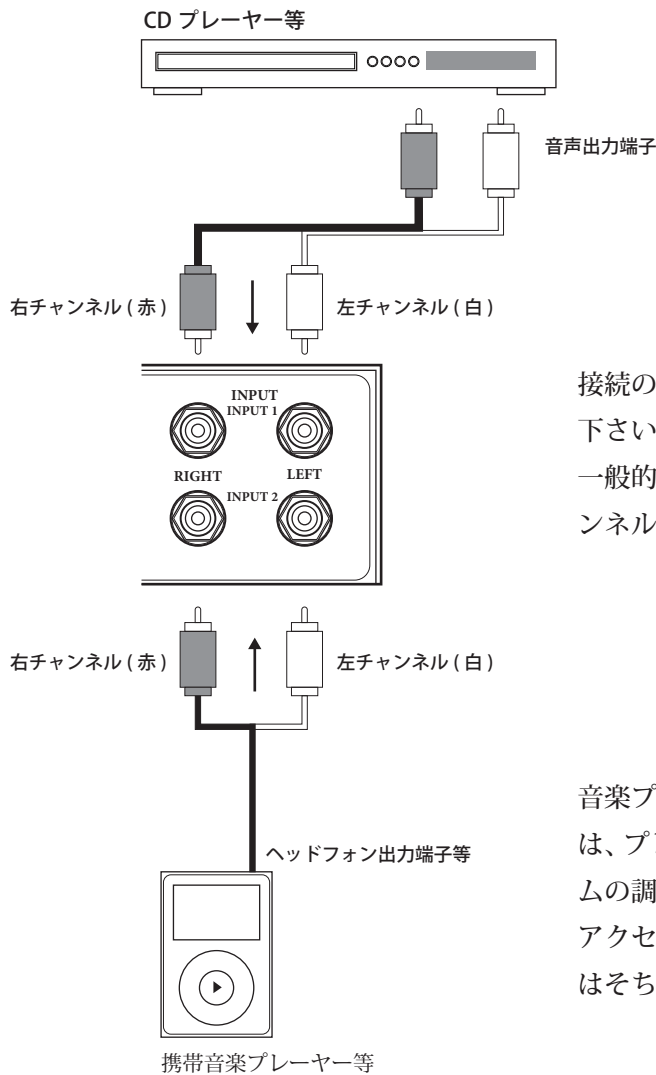


RCA ピンプラグ (例)



オーディオ機器を、オーディオ入力端子 (①または②) に接続します。
接続には市販の RCA ピンプラグ を用います。
本機のオーディオ入力端子は 2 系統あり、前面の入力切り替えスイッチ (③) で切り替えることができます。

接続例



接続の際、左右のチャンネルを間違えないようご注意ください。

一般的に、RCA ピンプラグの右チャンネルには赤、左チャンネルには白または黒の印がついています。

音楽プレーヤーのヘッドフォン出力から接続する場合は、プレーヤーの音量を適切に調整し、最終的なボリュームの調整は本機で行って下さい。

アクセサリなどを利用してライン出力が使用できる場合はそちらでのご使用をお勧め致します。

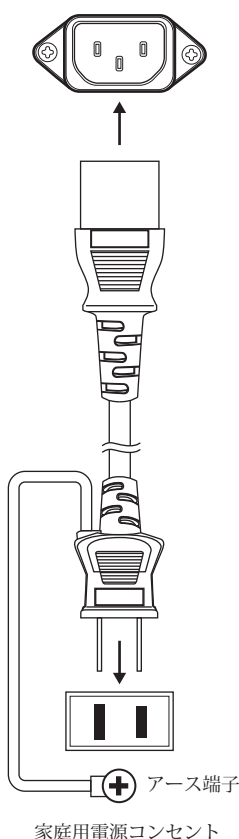
電源の接続



電源ケーブルを接続する前に、必ず本機の電源スイッチが OFF になっていることをご確認下さい。

電源ケーブルの接続

AC インレット (⑦)



本体背面の AC インレット (⑦) に、付属の電源ケーブルを接続します。その際、電源電圧表示部 (⑥) に、お使いの地域に合った電圧に印が付いていることを確認して下さい。

AC INPUT
AC 100-120V or AC 200V-240V

日本国内一般向けもしくは
家庭用電源が 120V までの地域向けの表示

AC INPUT
AC 100-120V or AC 200V-240V

家庭用電源が 200V ~ 240V の地域向けもしくは
日本国内で 200V 以上の電圧で使用される場合の表示

電源電圧表示について

日本国内仕様の製品では、AC 100-120V に赤いシールで表示されています。AC 200V-240V に表示がある製品は海外向けもしくは日本国内でも 200V 以上の電圧で使用されることを前提に製造された製品です。

万が一、お使いの電源と電圧表示部の表示が一致しない場合は、コンセントに繋がず、販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

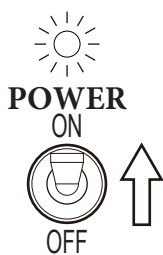
家庭用のコンセントに電源ケーブルを接続します。

接続の際は、電源スイッチ (②) が OFF の状態であることを今一度ご確認下さい。

※コンセントにアース端子がない場合、接続しなくても動作します。

※アース端子がある場合、接続するとノイズの低減による音質向上及び感電事故防止による安全性の向上につながります。

電源を入れる



電源スイッチ (②) を上に倒し、電源を ON にします。

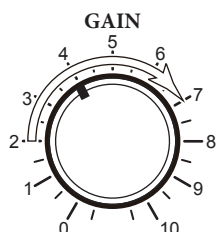
パイロットランプ (①) が青く点灯することをご確認下さい。

本製品の特性上、電源を入れた後内部電流が安定するまで約 5 分かかります。その間は音が出ない、音が歪む現象が発生しますが故障ではありません。

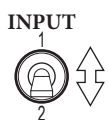
電源を入れてから 5 分間、ボリュームコントロール (④) は反時計回りに回し、音量を絞っておいて下さい。

音楽を聴く

音楽を再生する



電源を入れて5分経過したら、オーディオ入力端子に接続したCDプレーヤー等を再生状態にし、ボリュームコントロール(④)を時計回りに回していくとスピーカーから音が出てきますので、適切な音量に調整して下さい。



2台の機器をオーディオ入力1及び2に接続している場合は、入力切り替えスイッチ(③)で接続されている機器の音を切り替えることができます。

ヘッドフォンを使用する



ヘッドフォン端子(⑤)には、6.3mm径の標準プラグをもつヘッドフォンを接続できます。3.5mm径のミニプラグをもったヘッドフォンをご使用になる場合は、市販のミニプラグ→標準プラグ変換アダプターをご使用下さい。
適合するヘッドフォンのインピーダンスは4Ω～600Ωです。市販されている殆どのヘッドフォンが使用可能です。

- ※ ヘッドフォンを接続したまま電源を入れると、「ブーン」というハム音が発生する場合があります。
- ※ ヘッドフォンを接続してもスピーカーからの音声出力はミュートされませんのでご注意ください。
- ※ ヘッドフォンを接続する際は、耳を痛めないためにボリュームを絞ってから接続して下さい

エージングについて

本製品に使われている有機半導体コンデンサは、本来の性能を発揮するまでにおよそ100時間の通電が必要とされています。そのため、本製品本来の音質を得るためにも100時間の通電が必要となります。これをエージングと呼んでいます。

エージングの方法は、電源を入れたままにしても、音楽を再生する間だけ電源を入れるだけでもどちらでも構いません。また、エージング中に音楽を鳴らし続ける必要もありません。

通算の通電時間が100時間となるのを目安にしてください。

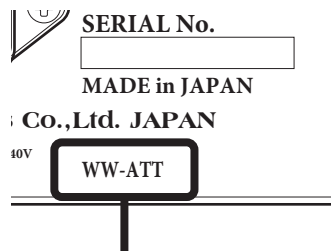
※目安として、1日当たり2時間だけ使用される場合は約50日、電源を入れたままでしたら約5日でエージングが完了する計算になります。

その他

お手入れについて

- ・本体が汚れた場合は、乾いた清潔な布で拭き取って下さい。シンナー・ベンジン・アルコール等は使用しないで下さい。塗装に痛みや変色が生じ、錆の原因になります。
- ・ボリュームコントロールは、数ヶ月に一度、数回左右いっぱいに回して下さい。これにより、ボリュームコントローラーの固着や錆び付きを防ぐことができます。

アッテネーターオプションについて



ゲインコントロールタイプ表示

本製品は注文時のオプションでボリュームコントロールにアッテネーターをご選択頂けます。アッテネーターをご選択された場合、本体背面のゲインコントロールタイプ表示（⑧）にアッテネーターのタイプが表示されています。標準ボリュームの場合でも、アッテネーターへの交換サービスも承っておりますので、交換を希望される場合は弊社までご連絡下さい。

ご選択頂けるアッテネーターの種類と表示は以下の通りです。

表示なし	標準可変抵抗ボリューム
MF-ATT	金属皮膜抵抗アッテネーター
WW-ATT	無誘導巻線抵抗アッテネーター

※アッテネーターとはボリュームコントローラーの一種です。

通常の可変抵抗ボリュームよりもノイズが少なく、精密な音楽再生が可能になります。アッテネーターに使用する抵抗器の種類によって音質にも違いが現れます。金属皮膜抵抗アッテネーターではメリハリのある音が、無誘導巻線抵抗アッテネーターではより生音に近い、精度の高い音が得られます。

深夜・小さな音でもお楽しみ頂けます

弊社の SATRI アンプの特徴として、ボリュームの位置に関わらず S/N 比（音声信号とノイズの比率）が常に一定であることが挙げられます。

一般的なアンプではボリュームを絞り音量を小さくすると、音量に対して相対的にノイズレベルが上がります。しかし、SATRI アンプの場合は音量を絞れば絞っただけ、ノイズレベルも下がりますので音質が変わってしまうことはありません。

深夜など大きな音を出せない環境でも、小さな音でも心地よく音楽をお楽しみ頂けます。

それでは、SCA-7511MK3 で心行くまで音楽をお楽しみ下さい。

故障かな？と思ったら

本機の動作が正常ではないと感じられた場合、以下の項目をご確認下さい。

どの項目にも当てはまらない場合は故障している場合があります。その際はお買い上げの販売店、または弊社までご連絡下さい。

電源が入らない

- ・電源ケーブルが確実に本体及びコンセントに差し込まれているかご確認下さい。
- ・お使いの電源が電源電圧表示と一致しているかご確認下さい。

スピーカーから音が出ない

- ・スピーカーケーブルが確実に本体及びスピーカーに接続されているかご確認下さい。
- ・オーディオ入力端子と再生機器が確実に接続されているかご確認下さい。
- ・接続したオーディオ機器が再生状態になっているかご確認下さい。
- ・再生機器を接続したオーディオ入力端子が入力切り替えスイッチで選択されているかご確認下さい。
- ・ボリュームコントロールを回し、適切な音量に調整して下さい。

スピーカーからの音が歪んでいる・違和感がある

- ・電源を入れてから約5分間は電流が安定するまで音に歪みが生じます。ボリュームを絞り、しばらくお待ち下さい。
- ・スピーカーのプラス端子とマイナス端子が間違いなく接続されているかご確認下さい。

ボリュームコントローラーのつまみに変色した

- ・ボリュームコントローラーつまみに使用しているベークライトという素材の特性で、永く使用しているうちにだんだんと色艶が出てきます。そのままご使用しても性能に影響はございません。

SCA-7511MK3 仕様

出力	スピーカー	15W + 15W (8Ω 10%歪)
	ヘッドフォン	200mW
入力	ステレオ2系統 (RCA ピンジャック)	
入力インピーダンス	100KΩ	
適応スピーカーインピーダンス	4Ω～8Ω	
ノイズレベル	VR 最大	50μV (Aカーブ)
	VR 最小	1μV (Aカーブ)
寸法	78mm(H) x 235mm(W) x 295mm(D)	
重量	2.9Kg	
安全規格	PSE 規格	

